

CAPEDISを支援して下さる皆さま方へ

7月中旬よりボリビアから帰国していた3人組も、
無事にボリビアへと旅立っていきました。
北海道から九州まで、

全国の支援者の皆様に暖かく迎えて頂き、
どこの報告会でも、
皆様の暖かい心に触れることが出来、
3人とも、とても感激していました。

帰国した昭子さん、ローナル君より、
お礼のお手紙が届いておりますので、
取り急ぎ皆様へお伝えし、エルピス会からの
お礼と代えさせていただきたいと思えます。



あなたに聞きたい あなたにとって本当の家族とは 隣人とは誰ですか？
きっとあなたは私と同じ血を持つ者というでしょう
私は本当の家族・隣人とは いつも私を支え 助け
いやなことであっても よいことであっても 言ってくれ 心配してくれ
このいまの時も 将来も 思ってくれる人

ローナル・ケンタ

聖マルティンの家を支援して下さる皆様方、
お一人お一人にお礼を言えないのは残念ですがこの紙面を通して改めて感謝致します。

多くの場での失礼をお許し下さいませ。

ローナルも日本での体験を通してまた、一段と大人になったと感じましたし、
これからも良い意味で、カペディスの為に彼が、
私に協力してくれることを期待しているところです。

毎年、世界中に気候の異変が見られ、
本当に住みにくい地球になってきていますが、
心だけは少しでも、神様の望まれた愛を中心とした生き方をしたいものです。

これからまた、新たな力を振り起して頑張りたいと思えます。
どうぞ祈りで結ばれ、繋がって参りましょう。

本当にありがとうございました。

野原昭子

僕は一度だって、日本に来ることを想像さえしたことはありませんでした。
それどころか、僕たちボリビアの障害者を支援して下さる日本の多くの方々に出会えるなんて!

さて、日本での感想を書けと言われたら、一冊の本になってしまうよ・・・へへへ
素晴らしい景色、美味しいお料理、日本の人たちは本当に良い人ばかり、寛大な心の人がいっぱい。世界中を回っても、これほど良い人たちには出会えないだろうと思うよ。

ただ一つだけ、ネガティブな事を言っていかな?
それは、殆ど全ての面で、高テクノロジー化“され過ぎている”ということ。
人が考えて、努力して、生きる場・可能性を取り上げてしまっているように思う。
(科学者・技術研究者だけが、それをしている)この先、どこへ向かっていくのだろうか?
もっと多くの新しい電化製品を買い、自分で努力することを無くしていくのだろうか?

この世には、多くのお金を持ちながら、それをどうやって使おうかと無駄に消費している人がいる一方で、心ある人は少ししか無いお金を自分よりも困っている人を助ける為に使う。
僕は日本に来て、この目ではっきり、お金を持っていないような方々が、
自分が幸せになることを横に置いて、外国の、しかも見知らぬ僕たち障害者が幸せになってくれと願い、協力して下さる方々に出会うことが出来たことを本当に幸せに思うし、感謝の気持ちでいっぱいになりました。そして、その一人一人の行為が鎖のように繋がっているのを見た。
一人の小さな人が始め、広がり、世の中を変えていく・・・

カペディス(聖マルティン障害者自立支援の家)のことを少しでも多くの方に知ってもらいたいのので言わせてください。

僕たちの国、ボリビアは日本と大違いです。ボリビアの障害者の現実はとても厳しいです。
ですから、障害を持って生まれたり、事故などで障害者となったりしたら、死ぬまで苦しんで生きることを強いられます。その上、僕たちは家族もいない(みな、孤児です)。
そんな知的障害者はどうやって稼ぎ、一つのパンを食べることが出来るでしょう。
でも、あなた方の差し伸べて下さる手があり、あなた方のおかげで私たちは少しづつですが、
苦しみに呑まれるのでは無く、前進することが出来ました。

僕は、皆様一人一人を目と心に刻み、ボリビアに持って帰ります。
そしてカペディスの皆にあなた達の援助で私たちの家が、生活が、こんなに変わられていることを話します。心からの抱擁と祈りをもってあなた方一人一人に心から感謝致します。
そして御免なさい。

ありがとう! 日本!!

ボリビアのローナル・ケンタ

実は、今回の日本滞在中にマスコミ嫌い?(笑)な昭子さんが取材を受けました。
発信先は「キリスト教放送局日本 FEBC」、ラジオとインターネットで視聴できます。
しかし放送日は「(来年の)1月19日(土曜日)」・・・待ち遠しい!
次号のエルピス会便りで視聴方法を詳しくお伝えいたします。
お楽しみに!